

未来と現在

校長 山田浩之

連休明けから運動会の応援練習が、始まりました。応援リーダーが、それぞれの教室に向いて歌やエール、振付などを教えます。

練習初日、リーダーも、初めてで手探りでやっているせいか、指示も通っていない感じです。一年生も、初めてのことなので何をしたらよいのか分からず、よく動けません。しかし、三日も続けるとリーダーも、いい感じになってきます。「もっと、大きな声を出して」「手の動きはこんなふうに」と指示も具体的で、応援を盛り上げるためのコツも伝えていきます。なかなかの進歩です。一年生も、それに応えて精一杯練習に取り組んでいます。

令和七年度の出発の最初の最初に、職員に次のように問いかけました。
「小学校で学ぶ意義や目的は何か」
職員が考える時間をとった後に、私の考えを話しました。

① 子ども自身の未来のために学ぶ
子ども一人一人に大切な未来がある。子ども自身が幸せに生きるために必要なことを学んでほしい。自己実現できるようにするために必要なことを身に付けてほしい。
② より良い社会の構成員となるため
子どもたちは未来の社会を担う大切な存在だ。今よりも、社会が良くなり、皆が幸せに暮らせるようになってほしい。そのような社会を担うために必要なことを学んでほしい。

ここまででは、未来のことです。一人一人の未来、そして社会の未来のために学ぶのです。

応援リーダーは、練習において、どうすれば一年生に応援歌の歌詞や振付を覚えてもらえるのか、人に何かを伝える方法を一つ体験できました。また、一年生の中には、大勢で力を合わせる時、応援することで仲間を力送ることができると、自分が応援されて力をもらうことができたことを、運動会で感じた子どももいたかもしれません。

さらに、私は、もう一つ、小学校で学ぶ意義や目的があると考えています。

③ 今を豊かに生きるために学ぶ
今それをやっていることが楽しい。できたこと、分かったことが楽しい。

未来のために学ぶことは、大切なことなのですが、同時に、今を充実させ、今を楽しむことも大切なことだと思っています。今日が楽しくなければ、明日のために学ぶことにも力が入りません。「えがおあふれる学校」を目指している理由の一つです。
応援リーダーも一年生も、大変だったけど充実した時を過ごすことができました。